

## 【取材のご案内】

### 第51回メディアミルクセミナー（オンライン開催）

**「免疫」は守ってくれるが暴走もしてしまう！**  
免疫にまつわる“都市伝説”も踏まえ、正しい知識をお伝えします。

## 『免疫を調節する食品の役割』

講師：<sup>とつか</sup>戸塚 <sup>まもる</sup>護先生

（日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科 教授・農学博士）  
2020年11月26日（木）15:00～16:30 予定

一般社団法人Jミルクは、「免疫を調節する食品の役割」をテーマに、戸塚 護先生（日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科 教授・農学博士）をお招きし、第51回メディアミルクセミナーを11月26日（木）に開催いたします。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、「免疫」に高い関心が寄せられています。とはいえ実際の免疫は多様で複雑な仕組みです。感染症やがんなどの病気から身体を守る防衛システムであると同時に、異常・過剰に働いてしまうと、アレルギーや炎症性疾患、自己免疫疾患のような病気につながることもあります。

免疫の働きが最も良い状態とは、「生体防御力」と「抑制的な働き」とのバランスが取れている状態といえます。食品の役割としては、免疫の働きを高めるばかりではなく、そのバランスが崩れているときに、正すような働きが求められているといえるでしょう。

また、免疫細胞の7割は腸にあります。腸内細菌のバランスが悪いと、免疫はうまく働かないことなども分かっています。

こうしたことを踏まえ、良好な栄養状態を保つことの重要性や、牛乳・乳製品が持つ感染防御機能などについて、戸塚先生から分かりやすく解説していただきます。

今回のセミナーは、Jミルクのメディアミルクセミナーでは初のオンライン開催となります。

なお、準備の都合により、ご出欠を11月19日（木）までに下記メールアドレスまでご返信くださいますようお願い申し上げます。

#### 【セミナーの運営・内容に関するお問い合わせ先】

Jミルク メディアミルクセミナー広報事務局  
（電通パブリックリレーションズ内）担当：小糸  
TEL:080-1384-9566 FAX:03-6263-9333  
E-mail: koito@dentsu-pr.co.jp

#### 【配信システムに関するお問い合わせ先】

一般社団法人Jミルク  
コミュニケーショングループ 寺田  
TEL:03-5577-7492

## <概要>

■日時：2020年11月26日（木） 15:00~16:30 予定

■実施方法：ウェブ会議システム（Google Meet）を用いて開催

※参加申し込みのあった方に、招待URLをメールでお送りします。

（11月24日ごろ送信予定）

※前日夕方（25日（水）18:00ごろから1時間程度）、接続テスト用に当日のGoogle Meet会議室をオープン予定です。

■動作環境：

- OS： Windows 8, 8.1, 10 / MacOS X（MacOS 10.5.7以降） / Android 4.2以上 / iOS 8.0以上
- ブラウザ： Google Chrome 最新バージョン / Microsoft Edge 最新バージョン / Mozilla Firefox 最新バージョン / Apple Safari 9以上 / Microsoft Internet Explorer 11以上

■講師：戸塚護先生

日本獣医生命科学大学 応用生命科学部 食品科学科 教授（農学博士）

1988年東京大学農学部農芸化学科卒業、1990年同大学院農学系研究科農芸化学専攻修士課程を修了した後、東京大学農学部助手、同客員准教授、准教授を経て、2017年より現職。2009年から2年間、文部科学省・学術調査官を兼任。学位：博士（農学）。専門は食品機能学・食品免疫学。食品の生理調節機能に関する研究、特に食品と免疫応答、食品と腸管機能の関係について研究を行っている。日本農芸化学会（代議員）、日本食品免疫学会（幹事）、日本動物細胞工学会（評議員・幹事）、腸内細菌学会（評議員）、日本免疫学会、日本栄養・食糧学会、Society for Mucosal Immunology に所属。（一社）Jミルク牛乳乳製品健康科学会議委員、（一社）日本乳業協会理事。2010年 Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry (BBB) 論文賞、2015年日本食品免疫学会賞受賞。